

第87回 ● 愛眼

STORM RIDER

ストームライダー

掛け心地、見やすさ、メンテナンス性etc. 既製品の不満を解消した眼鏡屋基準の偏光グラス

ストームライダー

眼鏡小売チェーンの愛眼が開発する偏光グラス。本文で解説している「スラントシステム」やパーツ類のほかにも、状況に応じてパーツを外すことでレンズの曇りを防げる「スイッチスリット」や、レンズ裏面に施された映り込みを防ぐ「サーフェスコート」など快適にかけられる機能が盛り込まれている。メインのラインナップは「SR-007-P オールドスクールタイプ」「SR-008-P スクエアワイドタイプⅡ（写真）」「SR-009-P スポーツカータイプⅡ（ハイカーブ仕様）」「SR-010-P ファッションカータイプⅡ（ハイカーブ仕様）」の4機種。レンズカラーは“テンダーグレー”“オリブグリーン”“クリームソニンピンク”“マロンブラウン”“スレートグレー”をラインナップ。1万4000円～1万6000円＋税

サングラスに感じた不満を解消したい

2013年に登場して以来、2022年の間に「ザ」の支持を伸ばしている偏光グラスのブランドがストームライダーだ。企画開発を担当する愛眼は眼鏡小売・卸売の大手。一般向けの眼鏡より市場が限定されてしまう釣り用アイウェアに参入した理由はなぜなのか。ストームライダーブランドを立ち上げた愛眼商品部企画課の藤岡博さんに話を聞いた。

「もともと私もバスフッシングが好きなので、釣り道具としての偏光グラスに強い関心をもっていました。フッシングショーにも毎年足を運び、どんなモデルがあるのかを見て回っていたのですが、レンズの性能は素晴らしいものがある一方で、眼鏡屋としての視点で見ると、既存モデルのフレーム機能と価格には不満があったんです。

偏光グラスに限らず、サングラスは一般向けの眼鏡より生産数が少ないので、価格を抑えるようにするならば、パーツの点数を削ったり安価な素材を使ったりしてフレーム

をもたせて締め付けを軽減しながらフィット感を向上している。また調整可能な鼻あてや金属芯を内蔵したラバー製耳かけ部は別パーツでセットされている。

「サングラスとくに安価なモデルだと、鼻あてや耳かけ部はフレームと体成型されているものが多いですが、掛け心地を追求するならば調整可能な別パーツにしなければなりません。また、これらのパーツは金属疲労や皮脂に接して劣化する消耗品なので、交換可能であることも譲れませんでした。鼻あては錆びないチタン製のアームをネジ止めしています。部品点数と工数が増え

てしましますが、1か所に不具合が出ても、そこだけを交換すれば、全部を買い替えることなく済みます。

コストを抑えるのに苦労しましたが、フレームの製造をマシンメイドにすることで1万円代半ばの価格を実現しています。3D設計で金型を作り、インジェクション成型で短期間に大量の均質なパーツが作れる先進的な工場で生産しています。レンズも機械で成型できるポリカーボネート製を採用しています。職人さんのハンドメイドで時間を掛ければもっと高品質なものが作れますが「コストが上がりすぎて品質に個体差が出てしまいます。100点と50点が混在する100個よりも、すべて90点の1000個の製品を作ることで価格を抑えています」

目を守るストームライダー

愛眼では目の保護という偏光グラスの役割も重視している。価格を抑えめという点とはより多くの人に手に取ってもらえるこ

うこと。そして、掛け心地がよくストレスがないということとは、外したくないという点だ。

「愛眼は眼鏡屋なので、ユーザーの目にとめて気を遣います。ストームライダーを立ち上げたときに決めたのは、まずはルーフフッシングのアングラ

という点でした。フッキングをミスしたときや、根掛かりを外したときなどにルーフやシンカーが顔に飛んでくる事故が起こりやすいからです。

せっかく休みの日にわくわくして釣りに行つたのに、そんな事故で釣りを嫌になつたり、水辺に出たくなつたりしたら悲しいじゃないですか。なので、安全面から偏光グラスの着用を啓蒙していくのが僕らの社会的な役割なんじゃないかなと思っています。

ストームライダーを発表して2年になり、おかげさまで多くの反響が寄せられています。年々数件は顔を上げてルアーが飛んできたけど大事にならなくて済んだという声をいただきます。そう言ってもらえたときが番作つてよかったなと思います。

レンズカラーは複数ラインナップしていますが、色の濃い薄いに関係なくどれも紫外線を99.9%カットする仕様です。陽射しの強い湖上で1日中釣りをしても白内障や角膜炎など目の病気になるリスクを軽減してくれるので、その点からも着用をおすすめします」

ストームライダーは全国の釣り具店や愛

眼の店頭で販売されている。

掛け心地に違和感が出たときやパーツ交換が必要になつたときなどは、釣り具店で購入したものであつても愛眼に持ち込めばメンテナンスのサービスが受けられる。また、度入り偏光レンズへの交換も2万2000円＋税（ハイカータイプも同価格）で対応してもらえます。

試着してみると、ソフトな掛け心地でありながら下を向いて首を振ってみてもレンズ、首を振って辺りを見渡しても視界がクラクラしないことに驚いた。今まで偏光グラスを使用していなかった人や、頭に合わないモデルを我慢して掛けていた人はぜひ一度試してみてもおすすめです」



STR-1002-3 デカサントタイプ



STR-1001-5 ポスリントタイプ

眼鏡メーカーならではの発想で採用された「スラントシステム」。約10°の角度をつけて下向きにレンズをセットすることで視線と直交しやすく見やすさが向上する。レンズ素材のポリカーボネートは、警察の機動部隊が使用する盾やF-22戦闘機のコックピットの覆いにも使われるほど衝撃に対して強いので、ルアーやシンカーが目に向かって飛んできても安全性を確保してくれる



STR (エスティアル)

今年から発売されているストームライダーの廉価版の位置付けのモデル。「フレームの性能は我慢している面がありますが、タウンユースにもコーディネートできるデザインなので、釣りのためだけに偏光グラスを買うのはちょっと……という人や、少年アングラにも広く使ってもらいたいです」と藤岡さん。レンズはポリカーボネート製。7000円～8000円＋税。